

1 学校運営の重点

(1) 教育目標

児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、個々の能力・特性に応じた適切な教育を行い、生きる力を育むとともに、自信をもって社会参加・自立をめざす明るく豊かな心を持った人間の育成に努める。

- めざす児童生徒像
- ・心もからだも強い子ども
- ・やさしく素直な明るい子ども
- ・目標に向かって頑張るたくましい子ども

(2) 中期目標

- 「人権尊重の視点」を活用した授業実践及び進路指導
- 生徒指導・防災・緊急時対応マニュアルの完備と実践
- 地域・関係外部機関との連携強化と積極的な情報発信

(3) 重点目標及び具体的な方策

- つけたたい力を明確にした授業実践
 - ・各学部の重点目標を「みとめる」「つながる」「やりとげる」の3つのキーワードに集約して分析し、身につけたたい力を共有した授業実践を行う。
 - ・授業評価の蓄積を教育課程及び年間指導計画の改善につなぐための組織を構築した実践を行う。

- 災害時に対応できる学校体制の構築
 - ・全教職員へ学校防災マニュアルについて周知し、在校時からの引き渡し訓練、帰宅困難児童生徒への対応訓練を実施する。
 - ・在宅時、通学時（スクールバス、自転車）の防災訓練及び防災教育を実施する。

- 家庭や地域、関係機関と連携した児童生徒の育成
 - ・支援者ミーティングで共有した内容を個別の教育支援計画に反映し、児童生徒への授業改善を行う。
 - ・「みとめる」「つながる」「やりとげる」の身につけたたい力をもとに、各学部で地域連携を実施し改善および評価を行う。